



平成26年度 天竜川水系 此田地すべり強制排水工事 について説明します



地すべり対策として、最も有効な方法は地下水位を下げることです。此田地区では、集水井をA、B、Cブロックに区分しそれぞれ31、17、8基設置し、さらに横ボーリングによって配水管を3、35、9箇所設置しています。

それらの効果により、地下水位は低下し地すべり抑制効果は得られてはいますが従来の方法では自然流下に頼るため、湧水を集めるのに時間を要していました。

本工事は、井戸管内を真空状態にすることにより地下水を強制的に集水し、従来の2～10倍の排水量が期待できる「スーパーウェルポイント（SWP）工法」を施工します。

SWPは、主に液状化対策や汚染地下水の浄化などに実績がありますが、この工法を地すべり対策として施工するのは全国で初めてです。では、SWPについて以下のとおり説明します。

工事概要

工事名：平成26年度 天竜川水系
此田地すべり強制排水工事

工事場所：長野県飯田市南信濃此田地先

工期：平成26年 4月 17日～
平成26年 10月 31日

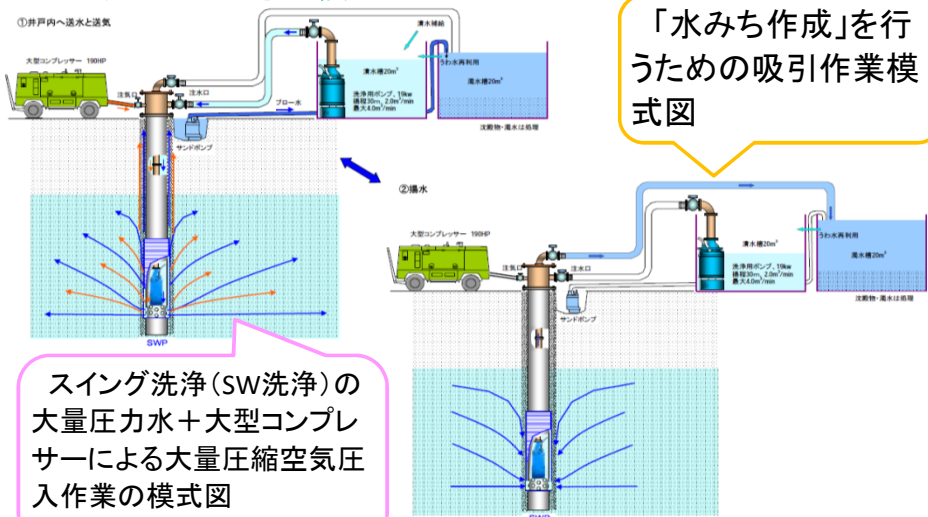
工事内容：

斜面对策

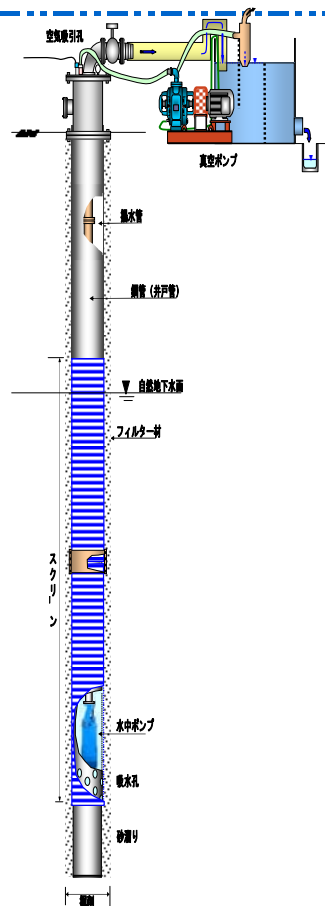
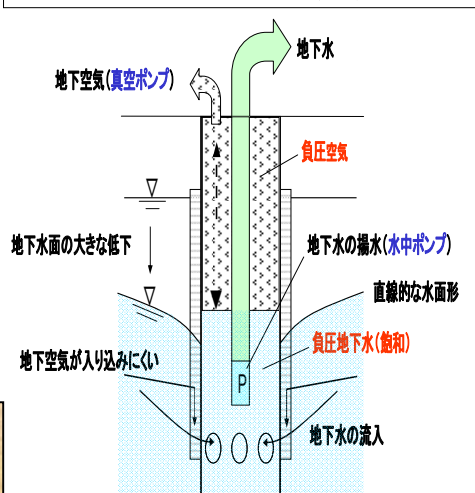
地下水排除工

スーパーウェルポイント工法 一式
施工：池端工業 株式会社

スーパーウェルポイント工法 Hi-Wai工法（Hi-Wai洗浄）



- ・地下空気の井戸管への入り込みを防ぐ（構造）
- ・井戸管を真空引きして地下水（飽和水）に負圧を与える（機能1；地下水を集水）
- ・井戸管内の地下水のピエゾ水頭（ポテンシャル）を下げる
- ・井戸管に流入する地下水を水中ポンプで揚水する（機能2；地下水を揚水）



スイング洗浄（SW洗浄）をより効果的に行うため、大量の圧力水＋大型コンプレッサーによる大量圧縮空気を同時又は、交互に地盤中に圧入作業と吸引作業を繰り返すことにより、「水みち作成」の効果を改善する事が出来ます。

最近の話題

遠山川漁業協同組合主催（4月27日）魚のつかみ取り



同地域に広く関わる青崩峠道路工事連絡協議会や上村中郷ツバタ沢工事用道路建設業者らが、日ごろの工事協力に感謝するとともに河川環境保全への思いを込めてアマゴの成魚、約800匹を寄付。これを受けた同組合が、地域住民に還元しようと実施しました。

南信州新聞記載



天龍村ホームページより



昨年度ブッポウソウ写真コンテスト最優秀賞作品。



国の天然記念物で絶滅危惧（きぐ）種のブッポウソウが、ことしも天龍村に渡って来ました。5月6日から村内の複数カ所で確認され、9日には役場の巣箱に入った。（南信州掲載） <http://www.vill-tenryu.jp/>

遠山川砂防出張所からお知らせです

4月に中西所長が異動になり、松葉新所長が着任しました



はじめまして、本年4月よりこの遠山川砂防出張所にお世話になることになりました松葉志郎です。よろしくお願いいたします。
遠山川流域の美しい景観と環境の中で仕事ができる喜びを感じており、この地域に貢献できるよう努める所存です。